

ペロブスカイト太陽電池における 電子輸送層界面の制御

¹産業技術総合研究所・太陽光発電研究センター
²東京大学・先端科学技術研究センター
³東京大学・大学院総合文化研究科

村上拓郎*¹, 宮寺哲彦¹, 舩木 敬¹, Cojocaru Ludmila¹, Kazaoui Said², 近松真之¹, 瀬川浩司^{2, 3}



1

ペロブスカイト太陽電池の構造





塗布法のセル作製プロセス





NEDOプロジェクトの取り組み:界面制御によるペロブスカイト系太陽電池性能の向上

<中間目標(平成29年度末)> 変換効率20%に向けて界面制御により、J_{sc} 23 mA/cm² 以上、V_{oc} 1.2V以上の条件でFF 75%以上を実現する。

<最終目標(平成31年度末)> Rational Institute 界面制御によりモジュールでFF 75%以上にするための指針を確立し、変換効率23%達成に貢献する。 Advanced Industrial S and Industrial S Advanced Industrial S and Institute Advanced Industrial S Advanced Indus



ペロブスカイトで発生した電荷を高効率で取り出す界面制御技術

研究方針

- 界面修飾材料を導入
- 界面の電荷再結合抑制および直列抵抗成分減少→FFを向上→高効率化
- J_{sc} 23 mA/cm² 以上、V_{oc} 1.2V以上、FF 75%以上→ 効率 20%以上



Planar型セルではPVK / TiO₂界面の電子輸送が遅い



Wojciechowski, K.; Stranks, S. D.; Abate, A.; Sadoughi, G.; Sadhanala, A.; Kopidakis, N.; Rumbles, G.; Li, C.-Z.; Friend, R. H.; Jen, A. K.-Y.; Snaith, H. J.; Heterojunction Modification for Highly Efficient Organic-inorganic Perovskite Solar Cells, ACS Nano, 2014, 8, 12701–12709.

- ペロからスプレー処理したTiO₂への電子移動が遅い。
- 一方、ペロからスピロへのホール輸送は速い。
- 従ってペロ内部に電子が蓄積されてからTiO₂へ電子移動が起こる。
- スプレーTiO₂にC₆₀を吸着させるとTiO₂への電子輸送が改善(蛍光量子収率が0.5%)
- TiO₂表面のトラップも減少 \rightarrow これはC₆₀に限らず安息香酸でもOK



PVK / TiO2界面のぬれ性向上により効率向上する例



Cojocaru, L.; Uchida, S.; Sanehira, Y.; Nakazaki, J.; Kubo, T.; Segawa, H.; Surface Treatment of the Compact TiO₂ Layer for Efficient Planar Heterojunction Perovskite Solar Cells, Chem. Lett., 2015, 44, 674–676.

ぬれ性向上でペロブスカイト前駆体溶液がTiO2緻密膜上に広がり高効率化

TiCl₄処理でTiO₂緻密膜の伝導帯準位がシフトする可能性が知られていない



TiCl₄処理で生成したTiO₂の特性に着目



TiCl₄処理で生成したTiO₂

▶ スプレーパイロリシスで製膜したTiO2



TiCl₄処理により生成したTiO₂薄膜のC.B.E.シフト



M. E. Orazem, B. Tribollet, The Electrochemical Society Series, Electrochemical Impedance Spectroscopy, Wiley, p. 236.

G. J. Brug, A. L. G. van den Eeden, M. Sluyters-Rehbach, J. H. Sluyters, J. Electroanal. Chem., 176, 275 (1984).



FTO ガラス上のTiO2コンパクト層のGIWAX測定





TiCl₄処理に伴う太陽電池性能の変化



Perovskite: PbCl₂ + 3 CH₃NH₃I in DMF Spiro-OMeTAD: SHT263, LiTFSI, 4-tert-butylpyridine Back Electrode: Au with vacuum evaporation

Compact TiO₂:

0.2M Ti-Acetylaceton, 75% isopropanol solution (Stock) 10% ethanol solution of the stock Spray at 350°C and then sintered at 450°C

TiCl₄ treatment: 40 mM TiCl₄ aqueous solution, 70°C for 30 min.



TiCl₄処理に伴う太陽電池性能の変化





TiCl₄処理に伴う太陽電池性能の変化











まとめ

- 酸化チタン緻密層に対して四塩化チタン処理+加熱で酸化チタンのCBEを制御できることがわかった。
- 四塩化チタン処理で生成した酸化チタンがCBEに影響を与えていることがわかった。
- 酸化チタンのCBEを制御し、ペロブスカイト層から酸化チタンへの電子移動の最適 なポテンシャルを見つけることができた。





研究の協力者 小金沢 智之 博士(SPring-8, 高輝度光科学研究センター) 児玉弘美氏、知見 操氏(産業技術総合研究所)牧山真子氏(東京大学)



NEDO 高性能・高信報性へ吻ルエモ・ノンム 革新的新構造太陽電池の研究開発 「ペロブマカイト系革新的 高性能・高信頼性太陽光発電の発電コスト低減技術開発

「ペロブスカイト系革新的低製造コスト太陽電池の研究開発」